

都道府県名

石川県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	金沢市立西南部小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21	30
児童数	101	95	116	98	95	96	3	604	

研究の概要

1. 研究主題

今を生きぬく子をめざして

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

教科担任制への取り組み

高学年（5・6年生の社会・理科・体育）で取り組んでいる。特定の教科に集中した教材研究によりその教科指導の技量を向上させ、質の高い授業づくりを目指すとともに、学年の児童を協力して育てるという児童理解的・生徒指導的な効果にも視点を当てて研究を進めてきている。

算数少人数指導への取り組み

中・高学年の算数で、加配教員を中心にした少人数指導に取り組んでいる。低学年では同学年の教師による拡充や1年生支援教員を活用して算数少人数指導やTT的指導に取り組んでいる。こうした指導の中で、算数の基礎学力の向上とそのための効果的な指導方法を探っている。

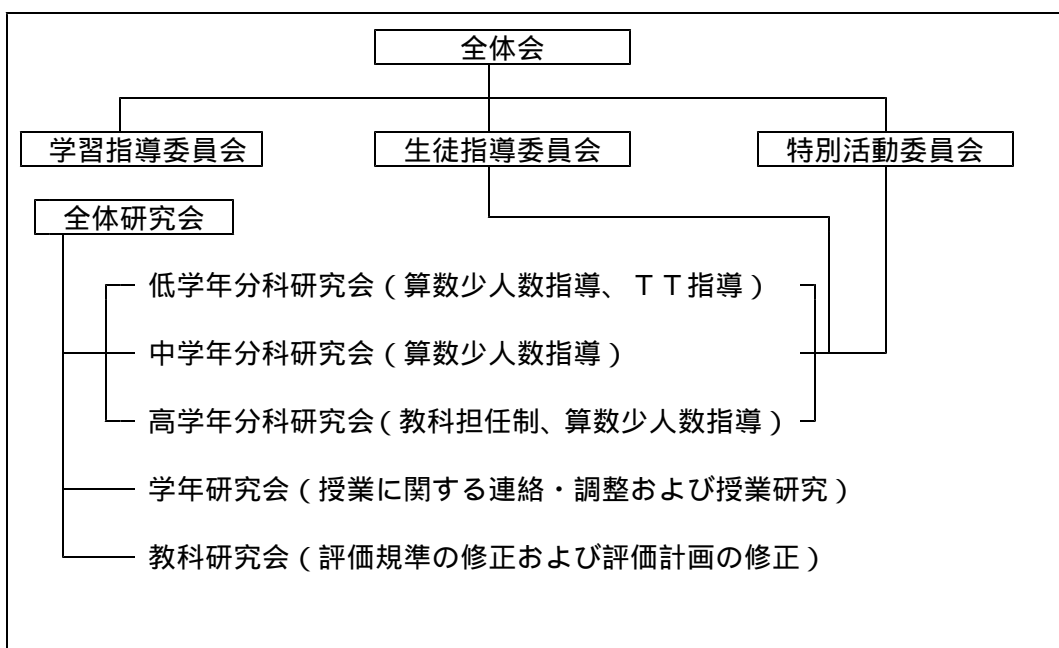
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ	確かな学力を身につけ、自ら学び考える子
	仮説	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの願いにそった、「わかる授業」づくりを行えば、基礎学力が向上する。 ・「わかる」学習体験を積み上げれば、子どもの主体性・創造性を育成することができる。
	研究内容・方法	<p>「わかる授業」づくりのために素材・単元構成・機器の使用を含めた授業設計を目指す。また、子どもたち一人ひとりの願いに応えるために、これまでの授業形態の枠にとらわれることなく、新たな指導の在り方を模索する。</p> <p>高学年教科担任制への取り組み 理科TT指導への取り組み 低・中学年算数少人数指導への取り組み</p>

平成 15 年 度	<p>テーマ 確かな学力を身につけ、自ら学び考える子</p> <p>仮説 ・子どもの願いにそった、「わかる授業」づくりを行えば、基礎学力が向上する。 ・「わかる」学習体験を積み上げれば、子どもの主体性・創造性を育成することができる。</p> <p>研究内容・方法 前年度の成果と課題をもとに、教科担任制のさらなる機能面と内容面充実と算数少人数指導の効果を探り、基礎学力の向上をはかる。</p> <p>「わかる授業」「考える授業」づくりへの取り組み 高学年教科担任制への取り組み 算数少人数指導への取り組み</p>
--------------------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ 確かな学力を身につけ、自ら学び考える子</p> <p>仮説 ・子どもの願いにそった、「わかる授業」づくりを行えば、基礎学力が向上する。 ・「わかる」学習体験を積み上げれば、子どもの主体性・創造性を育成することができる。</p> <p>研究内容・方法 前年度までの成果をもとに集大成したい。</p> <p>「わかる授業」「考える授業」づくりへの取り組み ・授業研究のさらなる深め、授業研究体制の見直し ・授業評価から授業の改善を目指す 高学年教科担任制への取り組み ・3年間のノウハウの集大成と発信 算数少人数指導への取り組み</p>
--------------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

教科担任制への取り組みから

教科担任制について児童・保護者・教職員に対して2回アンケート調査を行っている。結果は下の表の通りである。

教科担任制に対する意識 単位%

		5月調査		10月調査	
		肯定的	否定的	肯定的	否定的
児童	5年	89	11	82	18
	6年	93	7	93	7
	合計	91	9	87	13
保護者		86	14	90	10
教師		73	27	64	36

表で示すとおり、児童と保護者は5月・10月両時期ともに90%程度の高い割合で肯定的

に捉えていることが分かった。特に教科担任制2年目の6年生については高い数値で肯定的な回答が寄せられていた。こうしたシステムに慣れてきた結果ではないかと考えている。

また、それらの意識に対するおもな理由を下の表に示す

児童	肯定的な理由	・授業がわかりやすい ・変化があつて良い ・気持ちの切り替えができる 等
保護者	肯定的な理由	・先生のいろいろな個性が子ども達にプラス ・複数の目線で子どもを評価できる ・授業がわかりやすい
教師	肯定的な理由	・生徒指導的な効果がある 教師の協力体制ができる ・教材研究が深まる

その他、児童理解・生徒指導的観点からみた効果が教師側から指摘されている。学力向上の視点よりも上記視点の方が効果が早急に表れるように思われる。

少人数指導への取り組みから

	3年	4年	5年	6年
肯定的	89	92	95	95
否定的	11	8	5	5

今年度7月に少人数指導についてのアンケート調査を行っている。どの学年も9割程度、少人数指導に対して肯定的に捉えていることが分かる。

授業研究への新たな体制ができつつある

「わかる授業・考える授業」への授業の質向上を目指し、授業づくりに対する教師の意識が高まりつつある。授業研究を中心にした新たな研究体制の試行が始まっている。

2. 今後の課題

授業研究のさらなる充実

これまで2年間、新しいシステムが次々と導入されてきた。それに伴う周辺整備（システムの構築等）にかなりの労力が費やされてきた感は否めない。ここで今一度原点にかえり、授業づくりを中心とした研究体制の見直しをさらに進める。

教科担任制のシステムの効率化

教科担任制に関するノウハウはある程度蓄積されてきたが、その成果をうまく生かすためのシステム運用についてさらに工夫が必要である。人的整備も含め、教師側の多忙感を解消する手だてを考えることが、教科担任制の効果をさらに高めることへとつながる

算数少人数指導の拡大

今年度初めて中・高学年のみに導入されたシステムであるが、個へのよりきめ細かな対応の重要性を考えたとき、低学年での少人数指導は必然である。来年度は低学年での少人数指導も視野に入れていく。

成果の発信

来年度の公開のあり方も含め、成果の発信に力を入れる。

学力等把握のための学校としての取組

学力テストについて

- ・今年度2月下旬に学力テストを実予定である。実施学年と教科は以下の通りである。

算数 1年～6年 全クラス 社会 5年～6年 全クラス

理科 5年～6年 全クラス

昨年度1月中旬に1～5年生について算数の学力テストを実施している。5年生においては国語・社会・理科でも実施している。(6年生は卒業学年であり、今後その学年の連続的な変容を分析できないため実施していない)結果についての詳細は今後の分析を待つところである。来年度以降も同様のテストを実施し、学力定着の度合いを追跡調査したいと考えている。

アンケート調査について

- ・教科担任制に関するアンケート調査

5・6年生全児童と保護者・教職員に対して5月と10月に同様な内容で行っている。これは昨年度から継続しているもので、大まかな傾向や変容を調べている。今後も継続する予定。

- ・少人数指導に関するアンケート調査

今年度3・4・5・6年生児童対象に7月と11月に同様な内容で行っている。

- ・児童による授業評価に関するアンケート

クラスの児童対象に教師の授業についてアンケートを行う。1月と3月に実施予定である。児童の率直な意見を授業改善のための資料とする。来年度も継続していく予定である。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

公開研究会の開催

- ・日時、場所 平成15年11月14日(金) 当校において開催
- ・対象 県内・県外 教育関係者ならびに保護者
- ・当日の参加者 約250名
- ・内容 公開授業(10件)・
フロンティアスクール4校のパネルディスカッション・
記念講演(講師 文部科学省 日置光久先生)
- ・作成資料 研究概要パンフレット・指導案集

学校ホームページでの実践紹介

□

研究紀要の作成

- ・2月中にCDで作成予定 金沢市および近隣地区への配布

各種研究会での報告ならびに学校訪問への対応

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 1 5年度からの新規校 1 4年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7 ~ 1 2学級
 1 3 ~ 1 8学級 1 9 ~ 2 4学級
 2 5学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T . Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無